

事務事業マネジメントシート  
(兼) 予算編成資料・実施計画資料

事務事業名	芦安活性化対策育英奨学金貸付事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12063				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	教育総務課	課長名	新津 岳				
			所属担当	教育政策推進担当	担当者名	依田 明子				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	23	学校教育の充実	事業区分	01	一般	10	01	02	070	03
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度)	法令根拠		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業				
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	芦安村過疎対策条例 芦安村活性化対策育英奨学金に関する条例	<input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> その他の事業					
			<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
事務事業の概要	事業の内容: 期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)						
	芦安地区に居住する高校生等に対する奨学金制度。合併後10年で芦安村条例を見直すこととしているので、それまでは継続していく事業。月額1万円を高校生等在学中の3年間貸与、卒業まで芦安地区に居住すると返還額の半額を免除その後5年間定住すれば全額免除となる。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				貸付金	960					
						計	960			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績	芦安地区在住の高校生に対する奨学金の貸与
	25年度活動予定	芦安地区在住の高校生に対する奨学金の貸与
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	芦安地区に住む高等学校等に在学する学生またはその保護者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	芦安地区に住む高等学校等に在学する学生の保護者の経済的負担の軽減	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・地域に貢献する人材の育成 ・地域の活性化	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:貸与者数	人
	イ:償還者数	人
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:芦安地区に住む高校生等の数	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:経済的負担が軽減されたと感じた保護者の割合	%
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	ア:卒業生の定住率	%
	イ:地区の人口減少率	%

年		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地芳債	千円							
		その他	千円	250	100	100	100	100	100	
		一般財源	千円	470	860	1,100	1,220	860	1,580	
	事業費計(A)	千円	720	960	1,200	1,320	960	1,680	0	
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	24	24	30	30	30	30		
	人件費計(B)	千円	95	95	119	119	119	119	0	
	(A)+(B)	千円	815	1,055	1,319	1,439	1,079	1,799	0	
活動指標	ア:人 イ:人		6.0 2.0	8.0 2.0	9.0 2.0	11.0 2.0	8.0 2.0	14.0 2.0		
対象指標	ア:人 イ:人									
成果指標	ア:% イ:%									
上位成果指標	ア:% イ:%		-4.5	-1.6						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	芦安村時代平成8年から条例施行され、南アルプス市が引き継いだ
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	芦安地区の人口は合併当時から比べて減少している。少子高齢化が他の地域よりも顕著。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	地域からは継続を他地区からは、不公平の意見あり

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	数年前に旧芦安村活性化対策に関する事務事業について、協議検討を市全体で行うことを提案したが調整が進んでいない。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	政策推進課が中心となり、他の部局との調整を行った。法律(過疎地域自立促進特別措置法)に基づく事業以外であるため今後の方向性の決定は担当課に委ねられた。

事務事業名	芦安活性化対策育英奨学金貸付事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 芦安地区の高校生の学費に対する支援であるが、地域の活性化に結びついているかは疑問。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 芦安地区限定であることから見直しが必要。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 対象が芦安地区の高校生すべてであり、選考はしない。南アルプス市奨学金との統合が必要。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 芦安村条例のままなので、条例改正ができず困難
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 南アルプス市奨学金貸付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 高校在学期間に保護者の経済的負担が軽減されるため、地域に貢献する人材の育成につながる。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 高校卒業時に半額免除、その後継続して5年間居住すると地域住民の理解を得た上で廃止は可能。 全額免除の規定があり、南アルプス市奨学金は返還義務があるため現在貸付を受けている者と廃止後の対象者で条件
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 芦安地区在住の高校生の数によって予算が増減するため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最低限の事務である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 芦安地区限定であり、卒業後の住所要件のみで返還が免除されているため公平性に欠ける。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	できるだけ早い時期に地域の住民の理解を得て、南アルプス市奨学金制度との統合を図る。事業統合ができた場合は、貸付事務は平成25年度高校1年生が卒業する平成27年度末で終了。奨学金返還事務については、平成28年度から10年後の平成37年度末まで継続する。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 芦安村過疎活性化対策育英奨学金に関する条例を廃止し、南アルプス市奨学金に統合。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 芦安地域の住民の理解。																						